

企画展 **双六と世相** - 特種東海製紙 Pam コレクション -
4. 22 (土) ~ 6. 11 (日)

教育動物園縦覧双六(部分)

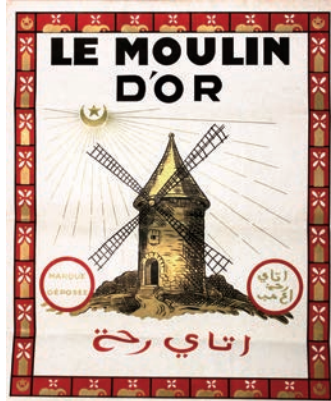


江戸時代以来、社会の影響を受けて制作された双六には様々な名称の「〇〇双六」があります。双六を注意深く観察することで、発行された時代の世相を読み取っていきましょう。

特別展 **戦後の蘭字**

- 中東とアフリカへ輸出された緑茶 -
10. 7 (土) ~ 12. 10 (日)

開国後の重要輸出品であった緑茶は、1906年(明治39)より清水港から輸出されるようになり、蘭字と呼ばれた昭和30年代まで輸出用茶箱のレッテルが使われていました。今回の展示は、近年注目されてきた戦後に中東やアフリカへと輸出されたオフセット印刷の蘭字に焦点をあてていきます。



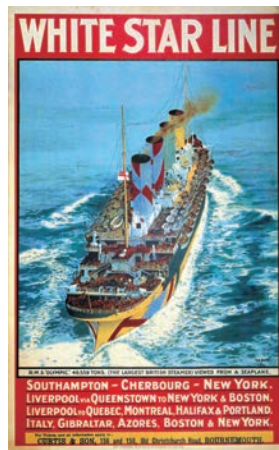
戦後の中東向け緑茶の蘭字

企画展 **豪華客船の時代** - 一船の科学館 コレクションより -
6. 17 (土) ~ 7. 30 (日)

日本では第一次世界大戦後の大型客船建造ブームを経て、昭和4年に豪華客船の時代が始まりました。ポスターやメニュー、記念品などから、豪華客船の旅を紹介します。



浅間丸のメニュー
船の科学館蔵



「WHITE STAR LINE「OLYMPIC」」ポスター
船の科学館蔵

企画展 **柳原良平のデザインと船のギャラリー**
2. 24 (土) ~ 5. 13 (日)



アメリカ建国200年記念大航海レース 切り絵

船や港、そしてトリス君のイラストレーターとして知られた柳原良平(1931~2015)氏の回顧展です。柳原氏のイラストは濃度の違う紙、あるいは色紙を切って制作する独特の方法でした。柳原夫人から横浜市に寄贈された数千点の作品の中からイラストレーターとしての柳原良平氏の世界を紹介していきます。

企画展

村松誠 展

- いやしの動物イラスト -
8. 5 (土) ~ 10. 1 (日)

『ビッグコミックオリジナル』の表紙イラストを30年以上に渡り担当した村松誠氏は、動物と人間の表情を融合させたような、リアルでコミカルなイラストが特徴です。村松氏の動物イラストを中心に原画で紹介していきます。



©MAKOTO MURAMATSU・SHOGAKUKAN

企画展

ME DE CHANGER 移りゆくわたし

- 書家 大杉弘子 -

12. 16 (土) ~ 2. 18 (日)



大杉弘子氏は中国・日本の伝統的な書を基礎にして、活躍の舞台を国内外に求めて縦横無尽に活動してきました。新しい芸術領域に挑戦し、現代の書家として進化し続ける大杉氏の作品展です。

青いオベリスク 2007

ギャラリーコーナー

- 4・5月 むらまつみわ(ミクストメディア)①
- 6・7月 佐藤浩司郎(アクリル)②
- 8・9月 シミズクミコ(写真)③
- 10・11月 青木乃里子(水墨岩彩画)④
- 12・1月 小林由季(アクリル)⑤
- 2・3月 藤岡美樹(日本画)⑥

